

9 歳、第 1 種電気工事士合格

西郷村の石川未奈子さん(9)「白河二小3年」は、国家資格「第1種電気工事士」の試験に合格した。電気工事従事者を中心の試験に、わずか9歳の少女が「発合格」という快挙を成し遂げた。

石川さん(白河二小)一発で

試験は年2回行われる。

今回、学科試験には2万3323人、技能試験には1万6783人が受験し、1万3977人が合格した。試験を実施する電気技術者試験センター(東京都)は「年少の合格記録を公表していないが、担当者は「一般の大人でも対策しなければ合格のハードルは高い。小学生での合格は極めて珍しい」と語る。

石川さんの実家は、電気関係の工事などを手がける東陽電気工事(西郷村)。社長の母格子さん(41)から受験を勧められた。昨年8月に第2種電気工事士の免状を取得し、その後すぐさま第1種の準備を始めた。第2種の学科試験は問題に書かれている漢字が壁となり、不合格を2回経験した。学科試験で苦戦した分、

昨夏「第2種」に続き「もっと資格を」

「電気工事士の勉強は楽しかった」と語る石川さん



今回の第1種は、漢字がある程度読めるようになり、で合格することができた。知識が積み上がった状態で格子さんは「忙しい中よくスタートしたため、勉強は頑張った」とほほ笑んだ。スムーズに進んだ。小学2年の頃から続けて指定された図面通りに配線できた国家資格の勉強に石川さんは「とっても楽しかった。技能試験の対策では、工具を取り扱う筋力を養うために試験に挑戦して資格をに、ソフトボールを握ってたくさん取る。将来の夢は握力を鍛えた。格子さんや現場に立って働きたい」と社員らの支えによって努力胸を張った。

Q 第1種電気工事士 マンションやビルなど大規模建物での電気工事に従事することが可能となる。年齢や学歴、実務経験などの受験資格はなく、誰でも受験できるが、免状交付の条件として、試験合格後に3年以上の実務経験が必要となる。

▲1月

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

どのような対策
をした?

なぜ、どうして
(Why)

受験のきっかけ
は?

みなさんの将来の夢は何ですか?
それに向けてとりたい資格はありますか?



「ジュニア窓」にようこそ

福島民友投稿のページ「窓」に送る